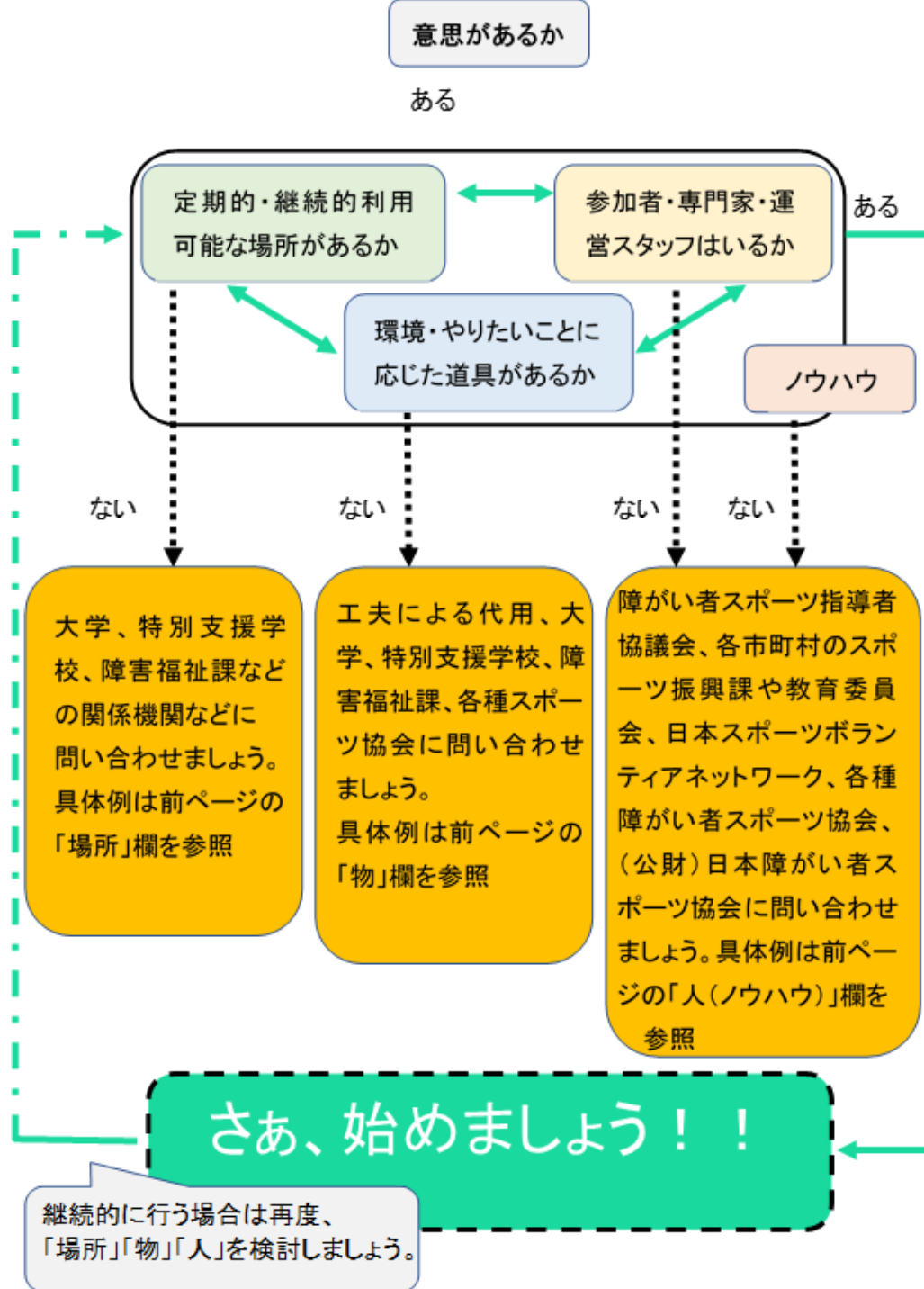


3. 生涯学習に結びつく 学習プログラムの開発と 講座開催マニュアルの作成、配布

講座開催マニュアルの作成

これまでの事業実施をもとに、障害者がスポーツを通じた生涯学習を行うための、「障害者スポーツの事業開催マニュアル（地域の障害者スポーツの普及と振興ガイド）」を作成した。



フローチャートと、各対象者に応じた解説を作成した。

スポーツ教室、スポーツイベント

障がいの
ある人

参加者同士でチームの結成
大会などへの参加

保護者
引率者

特別支援学校に
部活を設立

学校でもイベント
を開催したい

指導者資格を
取得

指導者資格
保有者

県北地域で月 1 回のスポーツ教室を
立ち上げ

ラダーゲッター等の用具を自作

近隣大学
学生

近隣大学留学生

自国でも広げたい

近隣大学の留学生が
障がい者スポーツ体験会を開催

スポーツ教室、スポーツイベントの継続的な実施を通じて、各参加者の幅広い活動をもたらした

コロナ感染症拡大による 課題と新たな効用

- ・障害者にとって、オンラインでのスポーツ教室、イベント開催は、**通信機器保有と操作等の障壁**があると思われる。
- ・その反面、**全国からの参加も可能**であることが明らかとなった。
- ・新たな試みとして、**本学で所有する用具を県内の学校、団体、個人に貸出**を行った。延べ4件の申し出があり対応した。

事業成果のまとめ

- ・障害者がスポーツイベント、スポーツ教室を通して、社会の中で活動的に生きる意識、意欲を高めることが出来るとともに、障害の無い人との協同作業を行うことで、理想的な共生社会の構築に向けた環境整備が可能であることが実証されたと考える。
- ・事業経験を基に作成した、障害者スポーツの事業開催マニュアルは、県内の障がい者スポーツ指導者資格保有者のグループで活用を始めている。

今後の展開及び展望

- ・関連団体との**連携を強化**し、事業推進に貢献するように努める。
- ・新たな障害者スポーツ事業に取り組もうとする団体に対して、本事業で作成した**マニュアルの提供**および本学が有する障害者スポーツ振興に関わる**ノウハウ、情報提供**を行う。
- ・本学としては、事業の継続と**さらなる展開**も図っていく。